

6月1日以降の自粛要請等の内容

対 象	5月11日～5月31日（特措法）	6月1日～6月18日（協力依頼）
県民の行動	<ul style="list-style-type: none"> ○「感染拡大回避行動」 ①うつらないよう自己防衛！ ②うつさないよう周りに配慮！ ③県外の外出自粛と3密回避！ <p>※都道府県をまたぐ移動、特に感染拡大地域（特定警戒都道府県）への外出自粛</p> <p>※繁華街の接待を伴う飲食店等への外出自粛</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「感染拡大回避行動」 ①うつらないよう自己防衛！ ②うつさないよう周りに配慮！ ③県外の外出注意と3密回避！ <p>※<u>首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）及び北海道等への外出注意</u></p> <p>※<u>3密対策が難しいキャバレーや風俗店等は特に注意</u></p>
観 光	—	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>県内観光の振興、3密回避など基本的な感染防止策の徹底</u>
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ○全国的かつ大規模なイベント等の開催の中止又は延期等の慎重な対応 ○50人以内のイベント等は感染予防対策のうえで実施可 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国的かつ大規模なイベント等の開催の中止又は延期等の慎重な対応 ○<u>屋内は100人以内かつ収容定員50%以内、屋外は200人以内かつ間隔確保のイベント等は感染防止策のうえで実施可</u>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○3つの密の徹底回避 ※集客施設、商店街・スーパーマーケット等の入場制限、行列整理、共用部消毒等 ○感染拡大地域への出張自粛 ○テレワーク、時差出勤等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○3つの密の徹底回避 ※<u>業種別ガイドラインの実践</u> ○<u>首都圏及び北海道等への出張注意</u> ○テレワーク、時差出勤等の促進
遊興・遊技施設	<ul style="list-style-type: none"> ○休業の協力要請 ※ただし感染拡大防止対策を講じる施設は対象ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ※休業の協力要請はしない ○<u>県の感染拡大防止対策の徹底、若しくは、業種別ガイドラインの実践を要請</u>
県立学校	<ul style="list-style-type: none"> ○5/11(月)から学年別分散登校開始 ○5/25(月)から学校再開 ※密となる実習・実技やグループ活動制限 ※部活動は個人練習等に限定して再開 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>部活動の制限を段階的に緩和</u> ○<u>実習等の制限を段階的に緩和（6/22(月)から通常活動に移行）</u>
県管理施設	<ul style="list-style-type: none"> ○一定の条件のもとで開館 	<ul style="list-style-type: none"> ○一定の条件のもとで開館
医療機関・高齢者施設等	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急を除き面会自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急を除き面会自粛
駅、港、空港等	<ul style="list-style-type: none"> ○交通結節点でポスター、放送 ○松山空港で検温 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通結節点でポスター、放送